

# 不妊治療をしながらの漢方に効果はありますか？



漢方養生指導士が、食事や生活改善のご相談にもお答えします。ていねいに聞き取り、想いに寄り添いながら、お一人お一人に合った最適な方法をご提案します

不妊カウンセラーの資格を活かし、漢方治療と不妊治療との賢い併用の仕方もアドバイスしてもらえる嬉しい存在。女性特有の悩みも安心して相談できます



女性の体質と漢方相談実績から研究開発した「桃福宝」。店内で試飲できます。赤珠・黒珠と、碧（あお）珠があります



来店が難しいかたも、電話による専門性の高いカウンセリングを受けることができます



広く明るい店内は、プライバシーにも配慮されており、悩みを聞いてもらうだけで元気になれるとの声も



薬剤師・不妊カウンセラー  
かしたに 陽子さん

女性の体質に特化した専門性の高い漢方と、豊富な経験による適切なカウンセリングが高い支持を受けている。1999年漢方専門「正倉館薬局」開局、2004年女性のための漢方相談「一陽館薬局 八木店」開局、2017年女性の美容と健康相談「一陽館薬局 学園前店」開業。著書「30歳からの子宝健康法」が悩める女性から共感を寄せられている。

## 一陽館薬局

<http://www.ichiyokan.com/>

- 【時】 10:00～18:00
- 【休】 木曜・日曜・祝日
- 八木店
- 【電】 ☎0120-50-9301
- 【交】 近鉄橿原線「八木西口駅」より徒歩すぐ
- 一陽館薬局 学園前店
- 【電】 0742-51-6855
- 【交】 近鉄奈良線「学園前駅」より徒歩1分

## 不妊治療専門クリニックとの連携で、最適な方法を

「不妊症」は、病気とは違って「治療して治る」というものではありません。妊娠を望んでいるのになかなか授からない場合には、婦人科系の検査だけでなく、体質的な問題や生活環境、食事、生活リズムなど日々の体調面などを見直す、これまでに気づけなかった「妊娠を妨げる本格的要因」が見えてくるかもしれません。妊娠を妨げている原因が、医学的な治療を必要とする事なのか、体の調子や体質による事なのか、そして、それに対してどのような対処があるのか、を理解することが第一歩ではないでしょうか。

専門医療が進み、漢方を含めさまざまな選択肢がある反面、自分の状態を見極めることが難しくなり、迷いながら時間を費やしてしまうケースもみられます。そのかたにとつて妊娠に向けて必要な体質改善を漢方的に検証していくとともに、信頼できる専門クリニックと連携して、「最適な妊活」へのお手伝いをさせていただきます。妊娠するために何が必要かは、人により異なります。根本的な体質なのが、ストレスなど心のバランスが影響しているのか。原因によって何を重視すればよい

## 漢方をうまく併用することで治療効果も高まります

かさまざまです。たとえば冷え性や生理痛などじつくりと漢方で体質面をととのえることが妊娠につながるケースもあれば、ゆつたりとカウンセリングの時間をとつて精神的な緊張をほぐしていくことで基礎体温や月経周期がスムーズになる場合もあります。不妊治療によってアシストすることを優先する段階もあり、それぞれに妊娠を目指す為の時期や順序があると思います。また、パートナーとの関係に問題を抱えるご夫婦も多くなっていますので、状態に合った妊娠をめざすべきでしょう。



学園前店にて。スタッフは全員女性なので、あらゆる世代と状況に柔軟な対応が可能です

## 漢方薬を併用する場合のメリットは大きいと思います

不妊治療をしながら漢方を併用する目的の多くは「根本的な体質の改善」と不妊治療をより効果的にするための「体のメンテナンス」にあります。体質的な不妊は、過去からの様々な要因が積み重なって起きていると考えられます。ですから、ホルモン分泌が不足しているならば、その原因（臓腑のはたらき）に対して、十分に機能できるように適した漢方薬で元気にしていきます。結果、自力が必要なホルモンの分泌が行なえる状態になる、というわけです。

漢方的な視点から、不妊状態を引き起こす2大要因として、「腎虚」と「瘀血」があげられます。腎は生命力の源となる力（「腎精」）を支配しており、ホルモン分泌や卵子の成熟の主体となりますので、腎精の不足（「腎虚」）になると生殖活動に不足が生じると考えられます。瘀血は、血行の悪い状態が長く続き、血流が滞ると、運ばれるはずの栄養も子宮に届きにくくなり、逆に老廃物を含んだ血液が送り込まれるような状態になってしまいます。そのような子宮は、赤ちゃんにとっては非常に厳しい環境だといえるでしょう。ですから、妊娠しやすい体づくりには、子宮や卵巣などを含む骨盤内の血流をよくすることがたいせつです。月経時の血液がドロツとしていたり、塊のようになっていたりするのは流れが滞っている表れと考えられますから、そのような状態をつくるシステム（体質）を改善することが漢方の役割です。漢方薬の作用は、あくまでも内臓を元気にして働きを良くしたり、本来の

バランスを回復したりする、言わば、不妊治療をがんばるカラダへの「エネルギー補給」です。ですから、漢方薬を服用しながら不妊治療を行なうことで治療効率は上がりますし、場合によっては薬剤の副作用や負担も軽減され、妊娠までの期間が短く済めば、経済的にも精神的な面でも楽になるなどのメリットがあります。

## 「処方力」と「相談力」信頼の実績がご夫婦の味方

ご相談者の直近の集計では、子宮や卵管や卵巣、ホルモン分泌そのものに不妊原因があり、治療が必要なかた以外に、年齢的な背景、冷え性などの体質の問題、夫婦間の認識の相違、精神的ストレスといった、より個別に適切な対応が必要とされるケースが増えています。個人個人に合わせた細やかなカウンセリングを実施しています。

遠方で直接ご来店が難しいかたや手軽に専門性の高い体質改善をお考えのかたには、電話相談と並行して「桃福宝（とうふくほう）」をご利用いただくのもおすすめです。「桃福宝」は一陽館薬局での妊娠実績を解析し、妊娠に適した状態にととのえるための製品です。サプリメントとして成分的に補うのではなく、カラダの動きとして本質的な体質改善を目指すことができます。「赤ちゃんが欲しい」といっても抱える条件や課題は人それぞれです。具体的にご相談いただき、適切な漢方薬を処方し「あなただけの妊活」をサポートさせていただきます。